

クラス番号	905	ゼミタイプ	サービスラーニング型（コミュニティ）
		担当教員名	木全 和巳
テーマ	地域社会においても格差と貧困が広がり、「子どもの貧困」への対応が課題になっている。こうした地域の中で、育てにくさをもつ知的・身体など発達などに機能障がいがある子どもたちへの地域社会における本人支援、家族支援の諸課題発見と、こうした諸課題解決に向けた実践の創造への取り組みについて、実践を阻害する制度政策の動向をはじめ、政治経済社会のからくりを学びつつ、子どもの権利、発達保障の視点から、地域住民としての市民の在り方を問いつつ、NPO などの活動への参加を通して、深める。		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：「テーマ」を明確にした「サービスラーニング型」で行います。

サービスラーニングですから、「実習」ではありません。「活動」に共に参加しつつ、本人、保護者、支援者と対話をしながら関係をもちつつ、「市民」として、地域の子育て、特に何らかの発達に機能障がいのある子どもたちの子育て支援の現状や課題について、学び合います。療育、学童保育、放課後デイなどがフィールドです。

現在のところ、知多圏域、名古屋市南部地域（港、熱田、中川、南）の社会福祉法人、NPO 法人など障がいがある子どもの療育や放課後の事業所に3人グループ×6カ所を予定しています。話し合って決めます。

知多の NPO 法人として、ゆめじろう、PakaPaka、ほがらか企画、チャレンジド、ひなた、など、社会福祉法人として、らいふなどを、名古屋市南部の NPO 法人として、あしたなど、社会福祉法人として、みなと福祉会、キリスト教社会館などを予定しています。HP でそれぞれの活動内容を確認してください。

基本、楽しく「活動」をしましょう。子どもたちに寄り添いつつ、保護者、支援者たちからも、たくさんお話を聴いてきましょう。よろこび、やりがい、不安、心配、悲しみ、苦労などなど。

どうなっているの？ なぜなの？ どうしたいいの？ 一人の「市民」として、「市民」とは誰なのか？ 何なのか？ も、絶えず問い続けながら、深めましょう。

授業計画：

前期は、問題意識の発表、交流、活動先選択、事前学習、「企画」作成（聴き取り、課題、活動）、活動に向けた準備などを行います。

夏休みには、「活動」があります。原則6日間です。活動先の都合で、短くなることおあります。毎日の気づきや学びのふりかえり。独自の聴き取りも、積極的に行ってください。

後期は、「活動」のふりかえりを中心に、研究活動を行います。そして、報告会に向けたレポートの作成もします。

交通費と昼食費は、自己負担です。

担当教員からのメッセージ



知多圏域で障がいのある人たち、子どもたち、保護者たち、支援者たちの相談支援のアドバイザーをしています。また、療育等支援事業の中で、思春期・青年期の自閉性障がいの子どもがいるお母さんたちのグループカウンセリングなどもしてきました。みなさんには、いま地域で、障がいのある子どもたち本人が、どんなことで困っていて、どのような支援をねがっているのかを中心に、そのねがいに応えるために、NPOなどがどのように本人支援や保護者支援を行いながら、どのような課題をもっているのかを子どもたちとの活動や聴き取りなどをおして、どうなっている、なぜそうなのか、どうしたらよいのかを活動に参加しながら、いっしょに考えていけると良いと思います。